

NRU-east

National Railway Workers' Union

No.856 2023年
8月30日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 常盤 達雄

国労で
一緒に築こう
明るい職場

国労
東日本

第37回定期大会開催!

各代議員から、 多くの報告・提言が出される

国労東日本本部は、8月19日に第37回定期大会を東京・新橋交通ビルにおいて開催しました。新型コロナウイルスが2類から5類になって初めての開催となる今大会は、次なる世代へ繋ぐ大会でもあり、国労の組織と運動を将来に繋げていくための、組織整備も提案されました。
(今号は、大会特集号【その1】として報告します)



議長 神奈川・佐藤代議員
副議長 東京・早川代議員

大会は渡辺副委員長の開会挨拶で始まり、議長に佐藤敏幸代議員(神奈川)、副議長には早川代議員(東京)が選出され議事に入りました。久しぶりに代議員が会場に集まり、一部傍聴者がWeb参加をしました。開会にあたり、伊藤委員長が3点にわたり挨拶をし、来賓の国労弁護士・海渡先

生、福田先生から、国労闘争・不採用問題の解決に尽力され、今年2月に亡くなった宮里先生の思い出が披露されました。国労本部・岩本書記長からの挨拶を受け、議事に入りました。経過報告・方針提案、財政報告・予算案提案が行われ、昼食休憩に入りました。
再開後、経過2名、方針10名の発言では、組織拡大への取り組み、ローカル線問題、安全への取り組み、女性社員の問題、将来への機関整備など多くの意見が出され、8月の柏営業統括センター(取手駅)での国労加入も報告されました。その後、新役員が選出され、スト権一票投票では、スト権が確立しました。最後に新執行部を代表し、伊藤委員長の団結がんばろうで大会を終了しました。



大きな2点目は、組織強化・拡大に向けた組織整備についてです。昨年の大会以降、2名の仲間の拡大を勝ち取っていただきました。当該分会の奮闘に敬意を表すとともに、取り組みに学ばなければなりません。

私たちを取り巻く情勢は一層厳しく、今後も困難な状況が続きますが、9地本本部の団結と代議員各位の真摯な討論にて、当面する運動方針を確立していただくことをお願いし、東日本本部執行員会を代表しての挨拶とします。

大きな1点目は、スピードアップされている各種施策、構造改革と私たちの労働実態についてです。
JR東日本は職場・システムを超えた「融合と連携」「柔軟な働き方」と称して組織改革を進めてきました。その主役は「社員」である旨を徹底し、組織横断プロジェクトや、社員の「声」「発意」を巧みに利用し、社員の成長と会社の持続的な発展を促しています。
この間、労組未加入者の「声なき声」の集約に向けアンケート調査を行い、多くの不平・不満が寄せられました。直近では働き方や待遇面に対するネガティブ投稿が一番多い企業という不名誉な、残念な紹介のされ方をしているのが現実です。怒り、不満がこうした投稿となって現れていることの危機感を労働組合としても真摯に受け止めなければなりません。
「内房線感電・死亡事故」「大船駅構内電化柱衝撃」をはじめ、大惨事につながりかねない事象・事故が連続して発生しています。個々の対策はもとより、背景や原因・要因など労働組合視点での丁寧な検証作業を進めて、会社に対策を求めて行くことといたします。

大きな3点目は、「『あらたな戦前』にさせない」取り組みの強化についてです。「聞く力」「新しい資本主義」を看板に掲げ誕生した岸田政権発足から2年が経過しようとしています。先の国会では、防衛費増額の財源を確保する特別措置法や、原発の60年超運転など重要法案が、疑問や懸念が払拭されない中で成立しました。閉会後に岸田首相は、改憲の目標について自民党総裁任期の来年9月までの実現を示すなど、「聞く力」とは裏腹に反動性を強めています。
さらに、今年5月の「広島サミット」では、G7首脳による「核軍縮に関する広島ビジョン」が発表されたものの、現実的な対応は示されず、核抑止力の維持が正当化されるなど失望と落胆の声が上がっています。
2月の委員会にて、タモリさんの言った「あらたな戦前」という言葉を紹介しましたが、危険な時計の針はさらに進みました。私たち交通運輸産業は平和の上に成り立つ業種であり「武力で平和はつけれない」と引き続き声をあげましょう。

JR世代を繋ぐ、 連携と戦線整備を 進めよう



委員長挨拶 要旨
(全文はHPに掲載)

JR東日本の原則出向の再雇用制度の中で、今年度で多くの国鉄世代は出向職場へと離れざるを得ず、日常的に同じ職場で問題に向き合うことは厳しくなります。今後の体制確立をどのように図るか、組織の戦線整備は急務な課題です。次世代の皆さんに過度な負担をかけない機関運営と、JR世代の横の連携、そして、会社と向き合うための戦線整備という観点から、「今後の国労東日本本部『組織の在り方』と規約改正(案)について」を提案することといたします。



新執行部 よろしくお願ひします



- 【執行委員長】 伊藤 隆夫 【再】
- 【執行副委員長】 渡辺 信之 【再】
- 彦田 貴弘 【新】
- 【書記長】 武田 幸喜 【再】
- 【執行委員】 常盤 達雄 【再】
- 中谷 慎一 【再】
- 和賀 聖司 【再】
- 【会計監査員】 塩澤 富世 【再】
- 飯島 英樹 【再】
- 矢部 雄一 【再】



中村 賢太郎
執行副委員長

退任役員 ごくろうさまでした

2019年・第33回定期大会から執行委員を1期2年、2021年・第35回定期大会から執行副委員長を1期2年務めました。



第16回組織拡大標語



2022年度機関紙表彰

最優秀表彰
国労で一緒に築こう
明るい職場
長野 / 松木 功

優秀表彰
仲間を増やし 暮らしを守り
未来をつくろう
長野 / 清水 淳
国労は君の勇気を待っている
千葉 / 高橋 弘幸

	紙名	号数	地本	発行機関
最優秀	蘇我運輸区分会ニュース	64	千葉	蘇我運輸区分会
優秀表彰	国労秋総	47	秋田	秋田総合車両センター支部
	国鉄新潟	31	新潟	新潟地方本部

- 東日本本部委員 定数17名
- 盛岡地本・阿部 茂樹
 - 秋田地本・高瀬 貴弘
 - 秋田地本・佐藤智恵美
 - 仙台地本・秋山 正浩
 - 新潟地本・佐々木雄平
 - 新潟地本・藤井 明人
 - 高崎地本・保泉 誠
 - 水戸地本・小泉 慶起
 - 千葉地本・嶋田 福実
 - 長野地本・坂本 善昌
 - 東京地本・佐藤 賢一
 - ・初山 知幸
 - ・新井 孝久
 - ・佐藤 敏幸
 - ・渡辺 一夫
 - ・丸山 雄太
 - ・早川 義貴
 - ・佐藤 賢一

がん保険にできることを、もっと。

NEW
「生きる」を創るがん保険
WINGS

1 幅広い保障で経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外観ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービスがアフラックのよりそうがん相談サポート^(※1)。アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afiac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル13階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

ありがとうございました

ご来賓

【国労本部】 岩元 孝信 書記長
【アベニール株式会社】 菊池 忠志 専務

【東日本本部顧問弁護士】
海渡 雄一 弁護士 ・ 福田 護 弁護士

関東交運労協 国鉄労働会館

国労北海道本部 国労東海本部 国労西日本本部
国労四国本部 国労九州本部

JR東日本労働組合 JESS-U